

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-282556

(43)公開日 平成6年(1994)10月7日

(51)Int.Cl.⁵
G 0 6 F 15/21

識別記号 庁内整理番号
3 4 0 A 8724-5L

F I

技術表示箇所

(21)出願番号 特願平5-70629
(22)出願日 平成5年(1993)3月30日

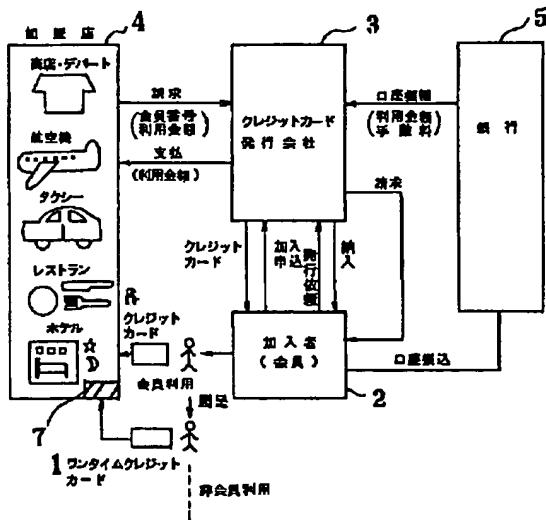
(71)出願人 591028142
岩田 寿
東京都中野区中野3丁目7番3号
(72)発明者 岩田 寿
東京都中野区中野3丁目7番3号
(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54)【発明の名称】 ワンタイム・クレジットカード決済システム

(57)【要約】

【目的】本発明は、クレジットカード利用加入契約により交付されたクレジットカードを所有する加入者の承認の下に、加入者負担による現行の決済方式の中での利用拡大を図れることを最も主要な目的としている。

【構成】クレジットカードと同様の加入者を特定する個人特定、使用条件、利用可能上限金額の各情報がデータ記録部に記録され、カードが1回利用されるか、利用可能上限金額を超えた場合に、それ以後カードが利用不能となる利用可否情報がデータ記録部に附与かつカード自体に表示される1回限り使用可能なワンタイム・クレジットカードと、加盟対象で物品やサービスの提供の対価をワンタイム・クレジットカードで決済するように、ワンタイム・クレジットカードの情報を読み取って正当性をチェックし、利用金額と共にクレジットカード発行会社に送りクレジットカードと同様の決済をする手段を有するカード端末装置とを備えている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 クレジットカード利用者がクレジットカード発行会社とクレジットカード利用加入契約を締結し、当該加入者を特定するための個人特定情報および使用条件情報をカードのデータ記録部に記録すると共に前記カードの表面に表示したクレジットカードの交付を受け、加盟対象で物品やサービスの提供の対価を前記クレジットカードを提示して後払いを約束し、前記加盟店からの請求に基づいてクレジットカード発行会社が前記クレジット利用加入契約に基づく前記加入者の銀行口座から後日前記対価を引落して前記加盟店に支払う後払い決済を行なうクレジットカード決済システムにおいて、

前記クレジットカードと同様の加入者を特定するための個人特定情報、使用条件情報、および利用可能上限金額情報がカードのデータ記録部に記録され、かつカードが1回利用されるか、または当該カードの利用により前記利用可能上限金額を超えた場合に、それ以後当該カードが利用不能となる利用可否情報を前記データ記録部に附与されると共にカード自体に表示される1回限り使用可能なワンタイム・クレジットカードと、

前記加盟店に設置され、当該加盟店で物品やサービスの提供の対価を前記ワンタイム・クレジットカードで決済するように、前記ワンタイム・クレジットカードの個人特定、使用条件、利用可能上限金額情報、および利用可否の各情報を読み取って正当性をチェックし、当該カードが利用可能な場合に利用金額と共に前記クレジットカード発行会社に送ると共に、当該カードが利用不能となる利用可否情報をそのデータ記録部に附与しつつカード自体に表示することにより前記クレジットカードと同様の決済をする手段を有するカード端末装置と、を備えて成ることを特徴とするワンタイム・クレジットカード決済システム。

【請求項2】 クレジットカード利用者がクレジットカード発行会社とクレジットカード利用加入契約を締結し、当該加入者を特定するための個人特定情報および使用条件情報をカードのデータ記録部に記録すると共に前記カードの表面に表示したクレジットカードの交付を受け、加盟対象で物品やサービスの提供の対価を前記クレジットカードを提示して後払いを約束し、前記加盟店からの請求に基づいてクレジットカード発行会社が前記クレジット利用加入契約に基づく前記加入者の銀行口座から後日前記対価を引落して前記加盟店に支払う後払い決済を行なうクレジットカード決済システムにおいて、

前記クレジットカードと同様の加入者を特定するための個人特定情報、使用条件情報、利用有効期限情報、および利用可能上限金額情報がカードのデータ記録部に記録され、かつカードが1回利用されるか、または当該カードの利用により前記利用可能上限金額を超えた場合に、

それ以後当該カードが利用不能となる利用可否情報を前記データ記録部に附与されると共にカード自体に表示される1回限り使用可能なワンタイム・クレジットカードと、

前記加盟店に設置され、当該加盟店で物品やサービスの提供の対価を前記ワンタイム・クレジットカードで決済するように、前記ワンタイム・クレジットカードの個人特定、使用条件、利用有効期限、利用可能上限金額情報、および利用可否の各情報を読み取って正当性をチェックし、当該カードが利用可能な場合に利用金額と共に前記クレジットカード発行会社に送ると共に、当該カードが利用不能となる利用可否情報をそのデータ記録部に附与しつつカード自体に表示することにより前記クレジットカードと同様の決済をする手段を有するカード端末装置と、

を備えて成ることを特徴とするワンタイム・クレジットカード決済システム。

【請求項3】 前記利用可否情報をカード自体に表示する手段としては、利用済表示パンチ穴をカード自体に開けるようにしたことを特徴とする請求項1または2に記載のワンタイム・クレジットカード決済システム。

【請求項4】 前記利用可否情報をカード自体に表示する手段としては、利用済表示をカード自体に印字するようにしたことを特徴とする請求項1または2に記載のワンタイム・クレジットカード決済システム。

【請求項5】 前記ワンタイム・クレジットカードとしては、磁気カードを用いるようにしたことを特徴とする請求項1または2に記載のワンタイム・クレジットカード決済システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、クレジットカードを利用して決済を行なうクレジットカード決済システムに係り、特に1回限り使用可能なクレジットカード（以下、ワンタイム・クレジットカードと称する）を使用することにより、クレジットカード利用加入契約により交付されたクレジットカードを所有する加入者の承認の下に、加入者負担による現行の決済方式の中での利用拡大を可能としたワンタイム・クレジットカード決済システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 現行のクレジットカードの利用および決済は、利用者がクレジットカード発行会社とクレジットカード利用加入契約を締結し、加入者を特定するための個人特定情報（会員番号等）、および使用条件情報（カード会社コード、利用有効期限等）を、磁気カードの磁気ストライプ（磁気データ記録部）に記録すると共にカード表面に表示した、いわゆるクレジットカードの交付を受け、加盟店やタクシー等の加盟店で、物品やサービスの提供の対価をクレジットカードを提示して後払い

を約束し、当該加盟店等は、提示されたクレジットカードの情報と利用金額を付してクレジットカード発行会社に請求し、クレジットカード発行会社は、加入者の銀行口座から上記利用金額と利用料を引落して加盟店等に支払う決済方式を探っている。

【0003】すなわち、加入者は、住所、氏名または会社名、取引銀行名および口座番号等を、申し込み用紙に記入してクレジットカード発行会社に申し込みを行ない、個人特定および使用条件情報（会員番号、利用有効期限、カード会社コード等）を、カードの磁気データ記録部に記録すると共にカードの表面に表示したクレジットカードの交付を受ける。

【0004】そして、加入者は、この交付されたクレジットカードを提示して加盟店等で利用し、加盟店等は、提示されたクレジットカードの個人特定情報（会員番号）を付して、利用料金をクレジットカード発行会社へ請求する。すなわち、クレジットカード競取り用のカード端末装置を設置してある加盟店では、クレジットカードの磁気データを読み取り、利用金額と共にクレジットカード発行会社にデータ伝送し、また非設置加盟店等では、カード表面の表示を目視で読み取りし、利用金額と共に記載した請求書をクレジットカード発行会社に送付する。

【0005】一方、クレジットカード発行会社は、申込契約時の会員マスターデータベースから、利用者へ利用料金の請求を行ない、契約に基く利用者の銀行口座から、口座振替によって利用金額と手数料を引落し、加盟店等へ利用金額の支払いを行なって決済を完了する。

【0006】このように、大きな普及を遂げている現行のクレジットカードシステムは、各クレジットカード発行会社や銀行が互いに提携することにより、その利用範囲はさらに広がり、タクシーにまで及んでいる。

【0007】しかしながら、その利用可能者は、交付されたクレジットカードの持帯者に限定されており、同時にカード持帯者と別の場所にいる家族や、加入者負担による第3者への利用権贈呈等は不可能なのが実情である。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】以上のように、現行のクレジットカード決済システムにおいては、クレジットカードによる物品の購入やサービスの利用が、交付されたクレジットカードの持帯者に限定されるという問題があった。

【0009】本発明は、上記のような問題点を解決するために成されたもので、クレジットカードを所有する加入者の承認の下に、クレジットカード持帯者以外でもワンタイム・クレジットカードでクレジットカード持帯者と同様の規定金額内の利用を行なうことができ、かつ利用代金の決済は現行の決済方式に影響を与えないようにしてカード利用の拡大と利便性の向上を図ることが可能

なワンタイム・クレジットカード決済システムを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、クレジットカード利用者がクレジットカード発行会社とクレジットカード利用加入契約を締結し、当該加入者を特定するための個人特定情報および使用条件情報をカードのデータ記録部に記録すると共にカードの表面に表示したクレジットカードの交付を受け、加盟対象で物品やサービスの提供の対価をクレジットカードを提示して後払いを約束し、加盟対象からの請求に基づいてクレジットカード発行会社がクレジット利用加入契約に基づく加入者の銀行口座から後日前記対価を引落して加盟対象に支払う後払い決済を行なうクレジットカード決済システムにおいて、

【0011】まず、請求項1に記載の発明では、クレジットカードと同様の加入者を特定するための個人特定情報、使用条件情報、および利用可能上限金額情報がカードのデータ記録部に記録され、かつカードが1回利用されるか、または当該カードの利用により利用可能上限金額を超えた場合に、それ以後当該カードが利用不能となる利用可否情報がデータ記録部に附与されると共にカード自体に表示される1回限り使用可能なワンタイム・クレジットカードと、加盟対象に設置され、当該加盟対象で物品やサービスの提供の対価をワンタイム・クレジットカードで決済するように、ワンタイム・クレジットカードの個人特定、使用条件、利用可能上限金額情報、および利用可否の各情報を読み取って正当性をチェックし、当該カードが利用可能な場合に利用金額と共にクレジットカード発行会社に送ると共に、当該カードが利用不能となる利用可否情報をそのデータ記録部に附与しつつカード自体に表示することによりクレジットカードと同様の決済をする手段を有するカード端末装置とを備えて成る。

【0012】また、請求項2に記載の発明では、クレジットカードと同様の加入者を特定するための個人特定情報、使用条件情報、利用有効期限情報、および利用可能上限金額情報がカードのデータ記録部に記録され、かつカードが1回利用されるか、または当該カードの利用により利用可能上限金額を超えた場合に、それ以後当該カードが利用不能となる利用可否情報がデータ記録部に附与されると共にカード自体に表示される1回限り使用可能なワンタイム・クレジットカードと、加盟対象に設置され、当該加盟対象で物品やサービスの提供の対価をワンタイム・クレジットカードで決済するように、ワンタイム・クレジットカードの個人特定、使用条件、利用有効期限、および利用可能上限金額情報、利用可否の各情報を読み取って正当性をチェックし、当該カードが利用可能な場合に利用金額と共にクレジットカード発行会社に送ると共に、当該カードが利用不能となる利用可否情

報をそのデータ記録部に附与しかつカード自体に表示することによりクレジットカードと同様の決済をする手段を有するカード端末装置とを備えて成る。ここで、特に上記利用可否情報をカード自体に表示する手段としては、利用済表示パンチ穴をカード自体に開けるようにする。また、上記利用可否情報をカード自体に表示する手段としては、利用済表示をカード自体に印字するようにする。さらに、上記ワンタイム・クレジットカードとしては、磁気カードを用いる。

【0013】

【作用】従って、本発明のワンタイム・クレジットカード決済システムにおいては、加入者（クレジットカード持帯者）に交付されたクレジットカードと同様な個人特定情報、使用条件情報、および利用可能上限金額情報を記録したワンタイム・クレジットカードを発行して、流通させることにより、クレジットカードを所有する加入者の承認の下に、クレジットカード持帯者以外の者でもワンタイム・クレジットカードでクレジットカード持帯者と同様の規定金額内の利用を可能とし、かつ利用代金の決済は現行の決済方式に影響を与えないようにして、カード利用の拡大と利便性の向上を図ることができる。

【0014】また、クレジットカードと同様の加入者を特定するための最も重要な個人特定情報を、現行のクレジットカードのようなエンボス等による表示ではなく、カードのデータ記録部に記録して秘匿することにより、より一層安全性を高めることができる。

【0015】

【実施例】以下、本発明の一実施例について図面を参照して詳細に説明する。図2(a)および(b)は、本発明によるワンタイム・クレジットカード1の代表的構成例を示す表面図および裏面図である。

【0016】まず、図2(a)において、1Aはクレジットカード会社名、1Bは会員番号、1Cは利用可能上限金額、および利用有効期限、1Dは会員名（会社名）、1Eはカード名称で利用回数制限（1回のみ）があることを示し、1Fはカードを管理するためのカードシリアル番号、1Gはカードが1回利用されるか、またはカードの利用により利用可能上限金額を超えた場合に、後述するカード端末装置で開けられる使用済表示パンチ穴である。

【0017】また、図2(b)において、1Hは磁気データ記録部である磁気ストライプであり、後述するカード端末装置で読み取るためのカード表面の表示に対応する内容、すなわち既加入クレジットカードと同じ会員番号、利用有効期限、カード会社コード等に加えて、クレジットカードの有効期限を超えないワンタイム・クレジットカード1の利用有効期限、利用可能上限金額、使用完了／非完了の各情報が磁気データとして記録されている。

【0018】すなわち、本実施例のワンタイム・クレジットカード1は、本来のクレジットカードと同様の加入者を特定するための個人特定情報、使用条件情報、利用有効期限情報、および利用可能上限金額情報がカードのデータ記録部に記録され、かつカードが1回利用されるか、または当該カードの利用により利用可能上限金額を超えた場合に、それ以後当該カードが利用不能となる利用可否情報がデータ記録部に附与されると共にカード自体に表示される1回限り使用可能なものである。図1は、本発明によるワンタイム・クレジットカード1を適用したワンタイム・クレジットカード決済システムの構成例を示すブロック図である。

【0019】図1において、2は加入者、3はクレジットカード発行会社、4は加盟店である加盟店、5は銀行、6は加入者2が所有する本来のクレジットカード、7は加盟店4に設置されたカード端末装置、1は上記ワンタイム・クレジットカードをそれぞれ示している。

【0020】ここで、カード端末装置7は、本来のクレジットカード6による決済手段の他に、以下の手段を有するものである。すなわち、加盟店4で物品やサービスの提供の対価をワンタイム・クレジットカード1で決済するように、ワンタイム・クレジットカード1の磁気ストライプ1Hに記録された個人特定、使用条件、利用可能上限金額情報、利用有効期限、および利用可否の各情報を読み取って正当性をチェックし、そのカードが利用可能な場合に利用金額と共にクレジットカード発行会社3に送ると共に、そのカードが利用不能となる利用可否情報をそのデータ記録部に附与しかつカード自体に表示することにより、本来のクレジットカード6と同様の決済をする手段を有している。次に、以上のように構成した本実施例のワンタイム・クレジットカード決済システムにおける決済方法について説明する。まず、本来のクレジットカード6を利用する場合の決済方法について述べる。

【0021】すなわち、加入者2は、住所、氏名または会社名、取引銀行名および口座番号等を、申し込み用紙に記入してクレジットカード発行会社3に申し込みを行ない、個人特定および使用条件情報（会員番号、利用有効期限、カード会社コード等）を、カードの磁気データ記録部に記録すると共にカードの表面に表示したクレジットカード6の交付を受ける。

【0022】そして、加入者2は、この交付されたクレジットカード6を提示して加盟店4で利用し、加盟店4は、提示されたクレジットカード6の個人特定情報（会員番号）を付して、利用料金をクレジットカード発行会社3へ請求する。すなわち、クレジットカード6を読み取り用のカード端末装置7を設置してある加盟店4では、クレジットカード6の磁気データを読み取り、利用金額と共にクレジットカード発行会社3にデータ伝送し、また非設置加盟店等では、カード表面の表示を目視で読み取りし、利用金額と共に記載した請求書をクレジットカード発行

会社3に送付する。

【0023】一方、クレジットカード発行会社3は、申込契約時の会員マスターデータベースから、利用者2へ利用料金の請求を行ない、契約に基く利用者2の銀行口座から、口座振替えによって利用金額と手数料を引落し、加盟店4へ利用金額の支払いを行なって決済を完了する。次に、ワンタイム・クレジットカード1を利用する場合の決済方法について述べる。

【0024】すなわち、既加入者2は、申し込み用紙に記入してクレジットカード発行会社3に申し込みを行ない、既加入クレジットカード6と同じ会員番号、利用有効期限、カード会社コード等に加えて、クレジッカード6の有効期限を超えないワンタイム・クレジットカード1の利用有効期限、利用可能上限金額等を、カードの磁気ストライプ1Hに記録したクレジットカード6の交付を受ける。そして、加入者2は、この交付されたワンタイム・クレジットカード1を、非加入者に対して贈呈する。

【0025】非加入者は、この贈呈されたワンタイム・クレジットカード1を提示して加盟店4で利用し、加盟店4は、提示されたワンタイム・クレジットカード1の個人特定情報（会員番号）を付して、利用料金をクレジットカード発行会社3へ請求する。すなわち、クレジットカード読み取り用のカード端末装置7を設置してある加盟店4では、ワンタイム・クレジットカード1の磁気ストライプ1Hに記録された個人特定、使用条件、利用可能上限金額情報、利用有効期限、および利用可否の各情報を読み取って正当性をチェックし、そのカードが利用可能な場合に利用金額と共にクレジットカード発行会社3にデータ伝送する。

【0026】この場合、カードが1回利用されるか、またはカードの利用により利用可能上限金額を超えた時には、それ以後カードが利用不能となる利用可否情報を、カードの磁気ストライプ1Hに附与すると共に、例えば利用済表示パンチ穴1Gを、カード自体を開けることにより、それ以後は使用不能な1回限り使用可能なものとする。また、非設置加盟店等では、カード表面の表示を目視で読み取りし、利用金額と共に記載した請求書をクレジットカード発行会社3に送付する。

【0027】一方、クレジットカード発行会社3は、申込契約時の会員マスターデータベースから、利用者2へ利用料金の請求を行ない、契約に基く利用者2の銀行口座から、口座振替えによって利用金額と手数料を引落し、加盟店4へ利用金額の支払いを行なって決済を完了する。

【0028】上述したように、本実施例によるワンタイム・クレジットカード決済システムにおいては、加入者（クレジットカード持帯者）2に交付されたクレジットカード6と同様な個人特定情報、使用条件情報、利用可能上限金額情報、および利用有効期限情報を記録したワ

ンタイム・クレジットカード1を発行して、流通させるようしているので、クレジットカード6を所有する加入者2の承認の下に、クレジットカード持帯者2以外でもワンタイム・クレジットカード1でクレジットカード持帯者2と同様の規定金額内の利用を可能とし、かつ利用代金の決済は、現行の決済方式に影響を与えないようにして、カード利用の拡大と利便性の向上を図ることが可能となる。

【0029】すなわち、ワンタイム・クレジットカード1の製作を依頼した既加入者2の利用料金負担の条件下で、クレジットカード機能の空間的広りを実現し、既加入者2から非加入者である家族、友人、接待客等にワンタイム・クレジットカード1を贈呈することにより、任意の日時、場所で本来のクレジットカード6と同等の利用を、現行の決済方式に何ら変更を加えることなく提供することができる。

【0030】また、クレジットカード6と同様の加入者2を特定するための最も重要な個人特定情報を、現行のクレジットカード6のようなエンボス等による表示ではなく、カードの磁気ストライプ1Hに記録して秘匿するようしているので、より一層安全性を高めることが可能となる。尚、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、次のようにしても同様に実施することが可能である。

【0031】(a) 上記実施例では、磁気データ記録部である磁気ストライプ1Hに、既加入クレジットカード6と同じ会員番号、利用有効期限、カード会社コード等に加えて、クレジッカード6の有効期限を超えないワンタイム・クレジットカード1の利用有効期限、利用可能上限金額、使用完了／非完了の各情報を磁気データとして記録する場合について説明したが、利用有効期限、および使用完了／非完了の情報は、必要に応じて記録すればよいものである。

【0032】(b) 上記実施例では、利用可否情報をカード自体に表示する方法として、利用済表示パンチ穴1Gをカード自体を開ける場合について説明したが、これに限らず、利用可否情報をカード自体に表示する方法として、利用済表示をカード自体に印字するようにしてもよい。

【0033】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、クレジットカード利用者がクレジットカード発行会社とクレジットカード利用加入契約を締結し、当該加入者を特定するための個人特定情報および使用条件情報をカードのデータ記録部に記録すると共にカードの表面に表示したクレジットカードの交付を受け、加盟対象で物品やサービスの提供の対価をクレジットカードを提示して後払いを約束し、加盟対象からの請求に基づいてクレジットカード発行会社がクレジット利用加入契約に基づく加入者の銀行口座から後日対価を引落して加盟対象に支払

う後払い決済を行なうクレジットカード決済システムにおいて、クレジットカードと同様の加入者を特定するための個人特定情報、使用条件情報、(必要に応じて、利用有効期限情報)、および利用可能上限金額情報がカードのデータ記録部に記録され、かつカードが1回利用されるか、または当該カードの利用により利用可能上限金額を超えた場合に、それ以後当該カードが利用不能となる利用可否情報がデータ記録部に附与されると共にカード自体に表示される1回限り使用可能なワンタイム・クレジットカードと、加盟対象に設置され、当該加盟対象で物品やサービスの提供の対価をワンタイム・クレジットカードで決済するように、ワンタイム・クレジットカードの個人特定、使用条件、利用可能上限金額情報、(必要に応じて、利用有効期限情報)、および利用可否の各情報を読み取って正当性をチェックし、当該カードが利用可能な場合に利用金額と共にクレジットカード発行会社に送ると共に、当該カードが利用不能となる利用可否情報をそのデータ記録部に附与しつつカード自体に表示することによりクレジットカードと同様の決済をする手段を有するカード端末装置とを備えるようにしたので、クレジットカードを所有する加入者の承認の下に、

クレジットカード携帯者以外でもワンタイム・クレジットカードでクレジットカード携帯者と同様の規定金額内の利用を行なうことができ、かつ利用代金の決済は現行の決済方式に影響を与えないようにしてカード利用の拡大と利便性の向上を図ることが可能なワンタイム・クレジットカード決済システムが提供できる。

【図面の簡単な説明】

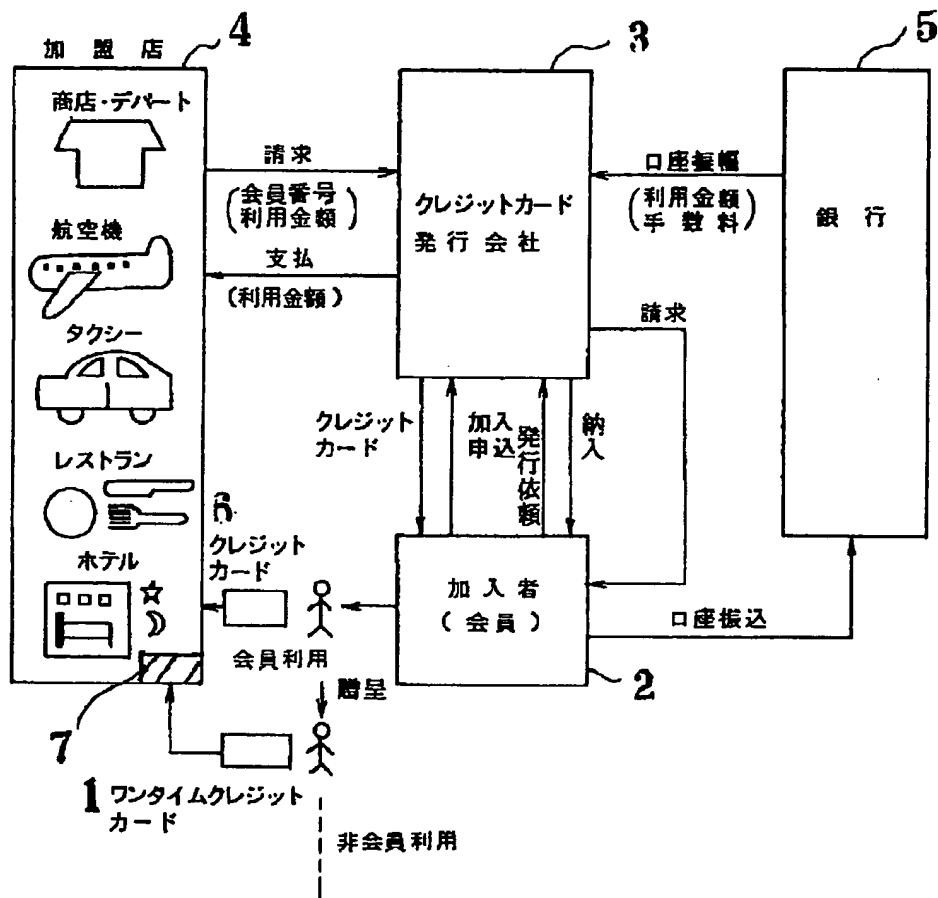
【図1】本発明によるワンタイム・クレジットカード決済システムの一実施例を示すブロック図。

【図2】本発明によるワンタイム・クレジットカード1の代表的構成例を示す表面図および裏面図。

【符号の説明】

1…ワンタイム・クレジットカード、1A…クレジットカード会社名、1B…会員番号、1C…利用可能上限金額および利用有効期限、1D…会員名(会社名)、1E…カード名称、1F…カードシリアル番号、1G…使用済表示パンチ穴、1H…磁気ストライプ、2…加入者、3…クレジットカード発行会社、4…加盟店、5…銀行、6…本来のクレジットカード、7…カード端末装置。

【図1】



[図2]

